

2022.7.21 (木)
第3回例会
(通算3672回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

第85代会長 滝越 康雄
副会長 清水 輝彦
幹事 中島 政徳
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2022-2023年度
国際ロータリーテーマ



2022-2023年度
R1会長 ジェニアファー・ジョーンズ
第2500地区ガバナー
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ

本日のプログラム 「三役・四大委員長挨拶」(担当：理事会)

次週例会 「ビアパーティー・滝越号出発式」(担当：親睦活動委員会)

- ロータリーソング：我等の生業
- ソングリーダー：田中 弘明君
- 会員数 104名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間

滝越 康雄会長

こんにちは。少し早いですけれど、お食事をされている方はお続けください。時間感覚が分からないので、実験的に早めになります。



一週間の期間はうまくできているものです。先週の公式訪問例会でいろいろとしくじりがあって、失敗もあり、だいぶ心に傷が残っていましたが、1週間あるとだいぶ癒やされまして、ちょうど良い期間だと思っていました。

ロータリーの活動のこれからの予定ですが、ガバナー歓迎例会以降は特段予定もなく、明後日に旭川で『財団セミナー』が開催されます。これには、会長、幹事と米本君が出席予定です。

私がいま悩んでいることは中学の親善野球です。ガバナー補佐並びに〇〇クラブの若い人たちはみんな逃げてしまったので、始球式をやらざるを得なくなって、それが一番の悩みです。小学校までしかやったことがないので、いま壁目がけてちょっと投げたいんですけど、恥をかくことは得意ですから少し頑張ってみます。

私はお食事の後のデザートもしくはコーヒータイト

の一服の時間の読書が趣味なものですから、会長挨拶の時に今後は、私が勝手にオリジナルで『話のデザート』と名付けまして、本から拾った話をご披露していきたいと思っております。ちょっとお耳をお借りする形です。今日は、その最初に明治11年に来日した外国人の旅行記をご披露したいと思います。

1878年(明治11年)に来日し、6月～9月まで東北を旅した女流旅行家イザベラ・バードの紀行日記です。『日本を知らない人から見た日本』を非常に面白い書き方をしています。その中から2つほどの話を披露したいと思います。

1つが、『東北から見えない都市・江戸』ということで。明治4年のころはまだ江戸だったので、書名はすべて江戸とされておりました。「江戸という言葉が外国人が使わなくなるのは、日清戦争のあたりからだと思います」と書いています。

「旅行をして江戸(東京)に入る際、品川に着くまでは江戸はほとんど見えない。江戸には長い煙突がなく、煙を出すこともない。寺院も公共建築物も滅多に高いことはない。普通の家屋は、20フィート(約7m位)の高さに達することはまれである。東京へ近づいても全然見えなかった。明治の初めには既に東京の人口は100万人いたので、ロンドンの3倍以上の大きな街があったのに、着くまでは全く分からなかった」。つまり何を言いたいかということ、工業が全くなかったということです。いま考えたら信じられないことです。

もう1つの話。これも時期的に面白い話なので披露します。『ノミとねぶた流し』というタイトルです。「日本人にとってはノミに刺されることは当たり前のことだったけれども、やはりこれくらい嫌なものはなかった」。

若い方が多いのでノミを知らないと思います。私が小さいころはノミがたくさん出ていました。

「弘前には『ねぶた』という行事があります。いろいろな伝説が付いていますが、これは『ねぶたい』という言葉で、津軽では『ねぶた流し』と言っています。秋田の能代川流域から雄物川流にかけて『ねむり流し』と言い、夏になるとノミに悩まされてみんな眠たいので、その眠気を流してしまおうと、その中に『ねむり流し』というものがある、津軽では小さな車を作り、外側に提灯を立てて作り、中に灯りを灯して、それを流したのです。結局、われわれの眠りの妨げになるノミであるという考えがあったので、『ねぶた流し』は同時に『ノミ流し』だったわけです。特に北の方にはノミが多かったようで、日本の紀行文を読んでいてノミのことはほとんど出てこない。それが当たり前だから書かないのです。日本では、流行病が少ないので、それほど大きな被害を及ぼさないということで、笹の葉に乗せて流すおまじないぐらいのことで済んでいたのではないかと思います」。

8月初めに大規模な『ねぶた祭り』がありますが、語源としてはこのあたりから来ているということで、一応お耳の入れておきます。何かの時に使っただけなら結構話題になると思いますのでご披露したまです。

どうもありがとうございました。

■本日のプログラム■ 三役・四大委員長挨拶

滝越 康雄会長



本日のプログラムは、三役・四大委員長のスピーチの時間ですが、私の場合、毎回スピーチを義務付けられておりますので、手短にいたします。私以外の方に時間配分をし、もし余ればまたお話をさせていただきます。

私が指名を受けてから今年度の三役・四大委員長にお声かけをした時は、個々の関係で頼みました。私に賛同してくれた軍隊という義勇軍みたいなものでして、個々の人間関係で押さえていたと思っております。

基本的には、活動計画書の実行・実践を基礎にして、

何かの結果を残したいというところの気持ちは持っております。

先日の公式訪問の時、時間があまり残っていなかったものですから、謝辞のところの原稿がなかったので、うっかり本音を言ってしまいましたけれど、前回例会のラストのところは本音でございます。

今回の理事会は年代にも幅があり、それぞれの個性を出して、人間性を頼りにして、大・小委員会の活動に期待するところが大きいです。

ということまでしか用意をしていません。よろしく願いいたします。

中島 徳政幹事



1年間、幹事をさせていただきます中島です。改めてよろしく願いいたします。

幹事で、この四大委員長で喋るとい

ことは、釧路ロータリーでは多分1回あるかないかだと思います。

昨年まではクラブ運営委員長ということでした。直前杉村会長が46歳か47歳で、私は今年の誕生日が来ると還暦になりますので、昨年度の理事会では年寄りの部類で抑えなければいけないような立場でいました。ところが、今年度になりますと滝越会長は75歳。いまの三役で私より年下は濱口君だけです。昨年度の副幹事の田内君と比べると濱口君の方が10歳ぐらい年上となりますので、相当高い年令の三役となっております。

僕パソコンはソコソコできるつもりでいましたが、昨年度、親睦委員会の瀧波君をパソコンで打って、その後、滝越会長エレクトを打つと『瀧』の字が違うことを全然気がつかずにそのまま文書を出すことが多々ありました。本日の例会も会長の名前は、康雄さんですが、「夫」になっております。雄・雌の「雄」ですので大変申し訳ございません。そのような形でケアレミスが大変多くなっております。気づいたら直してまいりますけれども、ぜひ60歳の爺ちゃんがやることで大目に見ていただければと思っております。それと、予算案を3月ぐらいから組んでいましたが、最初1ドル110何円というところから始まり、クラブアッセンブリーの時は1ドル127円でした。7月1日に皆さんに請求を出した時は136円となり、金額が大変上がってきております。124,000円ぐらいの上期の会費をお願いする形になってしまいました。これでいきますと、後期、例えば150円になってしまうと1,800円、2,000円上がらなくてははいけないということもあります。次年度の話をついたら鬼が笑

うかもしれませんが、ロータリーの会費がまた4ドルほど上がる話もありますので、会費はどんどん上がっていくことになります。どこかの時点で皆さんにご相談をしながら、どのように対策をしていくのかを忌憚のないお話ができる機会があればと思っております。そのような形で1年間頑張ってもらってまいりますので、ぜひ皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

クラブ運営委員会 佐藤 貴之委員長

皆さま、こんにちは。今年度クラブ運営委員長を仰せつかりました佐藤です。本来ですとクラブ運営委員長はもっと



ロータリー歴の長い方や熟練されている方、それからもっとロータリー愛に志を持った方がやるべきではないかと思っておりますけれども、今回ご指名がございまして1年間務めさせていただくことになりました。

私と滝越会長の仲ですけれども、一昨年、私が親睦委員会の時に、会長がこのクラブ運営の大委員長だったということと、中島幹事がプログラム委員会の委員長を務めていらっしゃいまして、その時によく3人で「打ち合わせ」と称して居酒屋や喫茶店で打ち合わせをしたことがありまして、その時の流れでずっと指名をしていただいたのかという思いであります。

皆さんは、よく私を持ち上げて「ロータリー愛が強い」と言ってくれてありがとうございますけれども、このタイミングでカミングアウトをさせていただきますと、私はロータリーを嫌いではありませんけれども、ロータリー愛というよりもロータリーグッズの方が非常に好きです。例えば、今日身に付けているネクタイも、今年度テーマのネクタイですけれども、皆さんよくご存じのオクトン製ではなくフジマキネクタイのちょっとレアな方のネクタイを身に付けています。私はそれくらいのロータリー愛で良かったのですけれども、今年度はご縁でありますので、一生懸命に委員会の垣根を越えて会長と幹事の思いをうまくクラブに伝えられる潤滑剤となれるように頑張っていきたいと思っております。

私が担当している委員会についてです。

まず、親睦委員会です。本日欠席ですが横田委員長をはじめ木下副委員長・石井副委員長が担当をしております。来週からいよいよ親睦委員会が活動しますが、この間、もう3回親睦委員会を開いております。幹事から「予算を少し使いすぎ」という指示もありますが、昨年度も非常に親睦委員会は盛り上がっていましたけれども、今年度も負けられないぐらいに委員会がすごく盛り上がっていて、本当に委員会をやっていて楽しい親

睦委員会です。来週、皆さんにその盛り上がりが伝わるかどうか、来週の『納涼ビアパーティー』で親睦委員会の力が試されるのかなど。私ももちろん一生懸命一緒になって手伝うわけですけれども、来週いよいよデビューです。

私は、親睦委員会をどんどん開催してほしいと思います。皆さんが参加するに当たって、もちろん親睦委員会の中身も話し合いますけれども、情報集会みたいに盛り上がっていく中で、例えば工藤さんが今までの釧路ロータリークラブの歴史やロータリーの歴史などいろいろな話をさせていただき、私たち若手は非常にためになるという感じの親睦委員会で、非常に活気がある中でも「ためになる委員会だ」と思っております。ぜひ親睦委員会、これからも1年間頑張ってもらって行ければと思っております。

続いて、出席委員会です。出席委員長は須藤委員長ですけれども本日は欠席です。出席委員長に指名したのはもちろん私ですけれども、須藤委員長には、宮古島に『あんずの種』の分院があるので、月の半分は宮古島へ行っております。それを補うために、池田いづみ副委員長をお願いしていましたがフタを開けたら年度が始まる前に転勤となり、本日も竹村委員をお願いしています。他の委員会の方には迷惑をおかけすると思いますが、私も一緒にやっっていこうと思っておりますので皆さんもぜひご協力をよろしくお願いいたします。

続いて、プログラム委員会です。本日は委員長・副委員長のどちらも欠席です。委員長に村上委員長、副委員長に小野寺副委員長、釧路クラブを代表するプリンスのお二人が活躍をしております。プログラム委員会に関して私は一切タッチしていなくても勝手にどんどん物事が決まっていく。プログラム内容もさることながら講師の方には、「釧路クラブに入会を」とお勧めして、その先のことも考えてプログラムの運営を考えていただいている委員長・副委員長で、釧路クラブのツートップです。そのような感じでプログラム委員会も進んでおります。

まず、この1年間、この委員会を通じて滝越年度がうまく運営していけるように一生懸命、頑張っていきたいと思っております。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

クラブ広報・会員組織委員会 及川 雅順委員長



皆さま、こんにちは。今年度、クラブ広報・会員組織委員会の委員長を仰せつかりました及川です。皆さんは顔を覚えていないと思いま

すけれども、僕は前年度の出席が異常に悪く、滝越さんからこの大役を仰せつかりました。

うちの副委員長には川合隆俊君にお願いをしておりますので頼りになると思います。

当委員会は3つの委員会からなり、クラブ会報・雑誌委員会の委員長には小野正晴君・副委員長には関向一君。この委員会は優秀な人材をたくさん配置していただきまして、写真撮影やいろいろな情報などを会員向けの他に地域向けに発信していただけたらと思います。

続きまして、会員増強・選考・職業分類委員会は、ベテランの吉田秀俊君にお願いしました。副委員長には、前回幹事の市橋多佳丞君にお願いしました。委員長・副委員長より「会員の減少防止と純増5名」という力強い抱負を伺っておりますので心強いです。

3つ目のクラブ研修委員会は、歴代会長が務めている委員会です。委員長に天方智順君、副委員長に舟木博君、委員に杉村莊平君となっております、とても安心しております。このような心強い人選に恵まれて1年間無事ゴールできるように会員皆さまの応援をいただきながら頑張りたいと思います。1年間よろしくをお願いします。

どうもありがとうございました。

奉仕プロジェクト委員会 吉田 英一委員長

皆さん、こんにちは。吉田です。最近、吉田という名前の新しい会員が入られたということで、「悪い吉田」から少しずつ良くなってきた吉田になれるように今年1年の活動を皆さんぜひ見ていただき、終わる頃には「良くなった吉田」という愛称で呼ばれるようになればと思っています。



私は、今回社会奉仕プロジェクト委員会の大委員長をさせていただきます。委員会は、社会奉仕委員会の岩田委員長と黒田副委員長、そして職業奉仕委員会の曾我部委員長と田内副委員長、国際奉仕委員会の水口委員長と伊原副委員長、そしてこの奉仕プロジェクトの花形委員会であります青少年奉仕委員会は、東堂委員長と田中副委員長で、この4つの委員会で滝越会長が掲げます「身近な奉仕」の実現に向けて頑張りたいと思っています。

私自身、一昨年に社会奉仕委員会の委員長をさせていただきますして、その前の年に出席委員長、吉田潤司ガバナーの時に設営部会の委員長をさせていただきます。その経験を糧に何とか1年間委員会活動を盛り上げていきたいと思っていますので、皆さまご理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。

ロータリー財団・奨学推進委員会 米本 富夫委員長



皆さんこんにちは

は。ロータリー財団・奨学推進委員会委員長の米本です。よろしくをお願いします。

私は、平成21年10月に釧路ロータリー

クラブに入会させていただきました。今年10月で丸13年の在籍期間ということで、早いような短いような、あっという間の13年間だったと思います。ちなみに私の家内は、私と生年月日がまるっきり同じです。今日の例会案内の「各種お祝い」がたくさんあるのを見て、私は4つのお祝いが1回で全部済んでしまう「コスパに優れている男」と思っております。

入会をして2年目に病気を患いまして、1年と少しロータリー活動、それから仕事を休ませていただきました。病気は治りましたが、休み癖がなかなか抜けずにズルズルとロータリーを続けていたような有様です。

昨年末に、滝越会長から「委員長をやってみないか」と声をかけられまして、このままではいけないと一念発起いたしまして、委員長を引き受けさせていただくことになりました。

私なりにロータリー財団と奨学会を理解はしていたつもりでしたけれどもモヤモヤとした中で、これはいかんということまで調べたらこのような文章があったので読ませていただきたいと思います。

「ロータリー財団とは。国際ロータリーのロータリー財団は、1917年に基金として発足し、1928年の国際大会でロータリー財団と名付けられました。1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州の法令の下、非営利財団法人になりました。ロータリー財団は、財団の法人設立案と細則に従ってロータリー財団管理委員会が慈善的・教育的目的のためにのみ運営するものとします」と記されております。また「ロータリー財団の使命としては、ロータリアンが健康状態を改善し、教育の支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解・親善・平和を達成できるようにすることです」と掲げられておりました。

これを読んでモヤモヤが少し晴れて、入口がはっきりと見えたと思っています。これからは、その一歩中に踏み込んでより深く理解をしていきたいと思っています。

その第一弾としまして、24日に、あの旭川に今年2回目ですけれども行ってきます。そこでまたセミナーを受講しまして、勉強をしてきたいと思っておりますので、釧路へ帰って来ても皆さま方の温かい目でみていただければと思います。

たわいないも話をしましたが、今年1年間、頑張っていますので皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

清水 輝彦副会長



副会長を今年仰せつかりました清水輝彦です。もう既に3回の例会がありましたが、あちこちで噛んでおまして、なかなかスムーズに行かないです。でも、本業のいろいろな学会などの司会は勝手に違ってもう少し滑らかにいくのですが、今日もいきなり誕生日祝い、その他を横に読んでいたら、「縦だ」ということでご迷惑をおかけしたり、いろいろな時に間違ったりですが、皆さんの温かいお気持ちで許していただいていることにとても感謝しております。

会長・幹事の影に隠れそうですけれど、会を進めていくこの司会はすごく大事だと思って、1年間頑張らなければと毎回きちんとシナリオを確認しています。つつい何かいろいろなことを喋りたくなることで、余計に噛んでしまうのかと思っております。

またコロナが最近、少しずつ増えてきています。実は私の本業で9月末に岡山で行われる予定のセミナーは早々にズームに変わる連絡がきました。どうしても医療関係は厳しいようで、医師会も2年半、全然会合が開かれておりません。

その中でこうしてロータリーに皆さんが集まって、多少の感染は出ていますけれども大きなクラスターにもならず、こうして顔を見て直接対面で行うことはとても非常に大事だと僕は思っております。

これが今年うまく長く続けられ、一度も休まずに行えるようにと願いながら司会を続けていきたいと思っております。いろいろな不手際、それからご迷惑をおかけするかと思いますが、どうぞ大きな心でお許しいただき、あるいは教えていただいて、お導きいただければと思います。

どうぞ、今年1年よろしくお願いいたします。

篠原 実副幹事

皆さん、こんにちは。ただいまご紹介いただきました本年度、副幹事を仰せつかりました篠原です。よろしくお願いいたします。



本来であれば私が壇上に上がるの予定で進ん

でいましたが、突然、幹事から「一言を」とありましたので、一言だけご挨拶をさせていただきたいと思っております。

私が、この釧路ロータリークラブに入会をさせていただいたのが、昨年の5月です。年度としては3年度目に入りますが、実はロータリー経験は1年2カ月と非常に短い経験の中で、このような大役を仰せつかりまして、何をしたら良いのかまったく分からない中でもう既に始まってしまっています。

同じ副幹事の濱口が私よりだいぶ年下ですけど、とても頼もしく一緒に仕事ができる。また、中島幹事は同級生ということもありまして、滝越会長、清水副会長と非常に親しみやすい中でスタートをしたわけです。

この歴史と伝統ある釧路ロータリークラブの皆さんにご迷惑をおかけしないように、1年間頑張っていきたいと思っておりますので、ぜひよろしくお願いしたいと思います。

濱口 憲太副幹事



皆さん、こんにちは。今年度、副幹事を仰せつかりました濱口憲太と申します。よろしくお願い致します。

先ほど『入会記念品』を初めていただきました。もう1年間経ったのだと感慨深いもので、あっという間の1年だったと思っております。

昨年は、瀧波委員長の下、親睦活動委員会で頑張らせていただきましたけれども、本当に多くのロータリーのことを学びました。また委員長のすごさも見させていただきましたし、ロータリークラブの組織というものがこんなにも素晴らしいもので、佐藤大委員長ではないですけど私も自分の想像以上にロータリーグッズではない方のロータリー愛に目覚めそうな感じもござります。

1年が経ちまして、副幹事という役職をいただきましたけれども、いままでの親睦活動委員会とは、まったく違う役割だということが今、身に染みております。何が一番違うかは、事務局に行くということです。事務局の場所すら分からなかったのですが、いまは準備などで事務局へ行く機会もありまして、大山さんともいろいろとお話をさせていただきながら貴重な勉強をさせていただいているところです。

とても大変な役職だと言われていましたが、やっていくとロータリーのことも分かりますし、違った角度で多くの皆さんといろいろ勉強をさせていただける貴重な機会だと捉えております。

NAYUTA の会のゴルフも併せて今年も 100%出席ができるように頑張って参りたいと思っておりますので、中島幹事を支える副幹事として篠原副幹事という強力な仲間、そして滝越会長をしっかりと支えて1年間役職を全うして行きたいと思えます。
最後になりますけれども、皆さま、改めましてご協力をよろしく申し上げます。
以上です。

本日のニコニコ献金

- 滝越 康雄君 前回の例会 緊張の連続でした。任期後残り 334 日。刮目で頑張ります。
- 清水 輝彦君 時間を気にしながら、楽しく失敗のない司会を心掛けてゆきます。宜しく願い致します。
- 中島 徳政君 一年間宜しく願い致します。
- 後藤 公貴君 一年間宜しく願い致します。
- 佐藤 貴之君 滝越年度宜しく願い致します。
- 及川 雅順君 一年間宜しく願い致します。
- 吉田 英一君 一年間宜しく願い致します。
- 米本 富夫君 一年間宜しく願い致します。
- 篠原 実君 一年間宜しく願い致します。
- 濱口 憲太君 一年間どうぞ宜しく願い致します。
- 久木佐知子ガバナー

今年度累計 38,000 円